

こんにちは  
健保組合です！

## 第62回 事業所訪問

# 株式会社アシスト東経 の巻 (四街道市)



ASSIST TONKEI Corporation

▲(株)アシスト東経のロゴマーク

スポーツの祭典、オリンピックが7月にロンドンで幕を開け、開会式に先立ち、女子サッカー「なでしこジャパン」がグループリーグ初戦のカナダ戦に快勝し、日本選手団を勢いづけました。読者の皆さまも深夜の放映にもかかわらず、連日、テレビの前で日本選手を応援されたことでしょう。



▲橋本周二社長

日本チームは、金7個、銀14個、銅17個、合計38個という過去最多のメダルを獲得し、特に今大会では、団体競技の躍進が目立ちました。メダルを獲得した選手、残念ながらメダルを逃した選手、結果にかかわらず選手の皆さまは日々、夢や目標に向かって努力を積み重ねてこられたことと思います。

大きな舞台での堂々たる活躍に、私たちは勇気と感動をもらいました。選手の皆さま、お疲れさまでした！

☆ ☆  
今年、日本各地で平年より早く梅雨明けが報告され、ひと足早い夏の到来を迎えました。昨年に引き続き、「節電の夏」とあって、心地よさを求めていると工夫された方もいらっしやうったことでしょう。

ちなみに、同社の社名は、橋本社長の御尊父が経営する東経物産(株)の社名の一部と、学生時代から続けてこられたサッカーの専門用語「アシスト(得点に貢献したパスやプレーのことです)」を組み合わせ命名されました。

### スマートフォンの メール機能を活用し、 業務の効率化が向上

引き続き、コスト管理や社員教育等についてお伺いしました。同社では、急速に普及している多機能携帯電話「スマートフォン」のメール機能を活用した「ドライブレコーダー」と「アルコーチェッカー」を導入しています。私たちは初めて耳にする機能でしたので、内容を詳しく伺ってみました。

「ドライブレコーダー」の機能は、急旋回、急停止、交通事故など危険運転を察知し、自動的に管理者のパソコンへ動画メールが送信されることで、ドライバーの安全教育や運行管理に役立てることができるものです。

「アルコーチェッカー」は、スマートフォンとアルコー検知機

9月に入り朝晩は秋らしい風を感じるようになりましたが、日中は太陽が照りつけ厳しい残暑が残る9月4日、私たちは第62回目の事業所訪問先として、四街道市に所在する株式会社アシスト東経(橋本周二社長)にお邪魔しました。橋本社長は組合会議員として、日頃より組合運営にご尽力をいただいております。

四街道市は、昭和30年3月に千代田町と旭村が合併し、四街道町が誕生したことにさかのぼります。その後、首都圏のベッドタウンとして急速に人口が増加し、昭和56年4月に四街道市として歩み始めました。

今回の目的地であるアシスト東経は、組合事務所から国道66号線に入って四街道方面に向かい、六方町交差点を左折し直進したところに本社を構えられ、すぐ隣は佐倉市に面しています。

「こんにちは健保組合です！」と私たちが事務所を訪ねると、女性従業員の方に迎えられ、しばらくすると橋本社長がおみえになり、貴重なお時間をちようだい取材を始めることとなりました。

器をつなぎ、カメラで自身を撮影しながらアルコー検知機器に息を吹きかけるとアルコー値が検出され、その数値が管理者に通知されるので、遠方にいるドライバーの検知も可能で、さらに、顔色や表情も確認できるといふものです。導入コストも比較的安く抑えられるうえ、IT機能を有効に活用することで、管理者とドライバーの業務効率化が図られ、相互の負担を軽減することにつながることでした。

また、月に1回、ドライバー同士の情報の共有や運転技術の向上を目的に研修会を開催し、社員一人ひとりの意識改革を図られています。

そして、コスト管理や社員教育においては、同社は地球資源が有限であることを認識され、トラックの燃費節約などの企業活動が地球環境との調和になることをめざして2009年にはISO認証を取得し、環境方針に沿った企業経営と環境保全を両立されています。

☆ ☆ ☆  
次に、ご自身の健康管理についてお尋ねしたところ、橋本社長は迷わず「ゴルフです！」と即答されました。練習で汗を流すことは

### 地道な努力と戦略が 実を結び、将来にわたっての 経営基盤を構築

最初に同社の社史についてお伺いしました。

アシスト東経は、平成5年1月に設立され、来年で20周年を迎えられます。設立当時は、八千代市米本に本社を構えられ、その後、現在の所在地に移転されました。主な業務内容は、キャノンマーケティングジャパン(株)が取り扱っているオフイス向け複合機の配送から設置までの一連の作業と、成田空港に輸入される航空貨物の全国配送だそうです。

設立以来、経営の基盤固めに全精力を傾注されてこられました。が、厳しい時代の流れに翻弄されるかのように、リーマンショック以降は取引先の販売不振による受注量の減少や、さらには昨年3月の東日本大震災の影響もあって、同社の経営にも暗い影を落とし始め、大きな岐路に立たされました。橋本社長は、「長引く経済不況のなか、将来にわたって安定的な事業を展開できるよう、数年前から新規顧客を得るため営業を強化

もちろんのこと、ゴルフ場では積極的に歩くようにして少しでも運動不足を解消するよう努められています。また、ふだんの食事にも気を遣われ、カロリーコントロールによる体型維持と、週2日の休肝日を設けていらっしやいます。

橋本社長は、ご自身の健康にはたいへん注意されている様子ですが、本業以外にも多方面で役割を担っておられるとお聞きし、目に見えない重圧とストレスを感じていらっしやうと思われそうです。で、くれぐれも無理をなさらずに今後とも体調には十分ご留意されますようお願いいたします。

最後に健保組合へのご意見をお聞きしたところ、「健診などの補助について広く周知していただきたい」とのご意見をちょうだいしました。私たちは組合機関誌やホームページなどをフルに活用し、組合員の皆さまにわかりやすく広報できるように工夫を重ねていきたいと思っております。

こうして取材の時間もあっという間に過ぎ去り、私たちは取材を終えることとなりました。橋本社長をはじめアシスト東経の皆さま、ご協力ありがとうございました。



▲(株)アシスト東経のトラック